

＜ 家 庭 ＞科 学習シラバス

科 目	生活と福祉	学年・コース	3年生スポーツ & カルチャー	単位数	2 単位	教科書	生活と福祉 (実教出版)	
学習の到達目標		・高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて理解する。 ・介護予防の考え方にもとづき自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身に付ける。						
評価の観点	A 知識・技術		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	ライフステージごとの心身の特徴や健康管理、高齢者福祉に関する法規や制度、サービスについて理解し、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と実践的な技術が身に付いている。		介護や看護について課題を設定し、解決策を構想できる。また、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現して課題を解決する力を身に付けている。		さまざまな人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域の高齢者の生活に関心を持って積極的に関わろうとしている。			
評価の方法	・学習活動における発言内容 ・実習における技術や態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査		・学習活動における発言内容や態度 ・ノート、プリント類 ・定期考査		・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート、プリント類			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点		
						A	B	C
1 学 期	4	第1章 健康と生活 1節 健康に関する諸概念	・健康に影響を及ぼす要因や健康格差縮小のための取り組みについて理解する。 ・各ライフステージにおける健康課題や目標を理解する。 ・日本の高齢化の要因と推移について理解する。 ・高齢化や世帯構成の地域差を理解し、地域の実情に即した福祉サービスを考える。 ・加齢に伴う心身の変化と個人差について理解する。 ・恒常性を維持する力の低下によって起こることと老年病について理解する。 ・高齢者の主な疾患とその症状について理解し、対応方法について考える。 ・高齢者の主な生活課題について理解する。	○				
		2節 ライフステージと健康管理		○		○		
	5	第2章 少子高齢化の現状と高齢者の特徴 1節 少子高齢化の現状		○	○			
		2節 家族・地域の変化		○	○	○		
	6	3節 高齢者の心身の特徴 4節 高齢者の病気		○	○			
7	5節 高齢者に見られる主な疾患や症状 6節 高齢者の生活課題と施策	○	○					
2 学 期	8 ・ 9	第3章 高齢者の自立支援 1節 人間の尊厳	・社会福祉の基本的な考え方と自立支援の意義を理解する。 ・高齢者の介護の特徴とその考え方を理解する。 ・さまざまな障がいに対応したコミュニケーションの取り方を理解する。 ・日本の社会保障制度のしくみを理解する。 ・介護保険制度のしくみを理解し、介護サービスの活用のしかたを考える。 ・これからの社会福祉の基本的な考え方を理解する。 ・高齢者支援のための地域包括ケアシステムの概要と地域包括支援センターの役割を理解する。 ・ボディメカニクスの基本原則について理解し、介護の方法を習得する。	○	○			
		2節 高齢者介護の考え方		○				
	3節 コミュニケーションと介護	○			○			
	10	第4章 高齢者支援の法律と制度 1節 社会保障・社会福祉制度のしくみ		○				
		2節 介護保険制度のしくみ		○	○			
11	3節 さまざまな高齢者支援のしくみ	○	○					
12	4節 地域共生社会	○						
		第5章 介護の実習	○		○			
3 学 期	1	第6章 看護の実習	・看護の定義について理解し、家庭看護の大切さを理解する。 ・生活支援の考え方を理解し、高齢者の生活支援について考える。	○		○		
		第7章 生活支援		○	○			
	2							
	3							
学習のポイント		・基礎的・基本的知識と技術を学ぶため、真剣に授業に取り組み、積極的に実習する。 ・欠席をせず、実習記録やノートなどの整理をして、提出物は期限を守って提出する。						